京城新報　明治四十三年八月三十一日（水曜日）　第四百九十六號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價（一枚金二錢▲一ヶ月前金[illegible]▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金[illegible]▲郵稅一ヶ月十三錢）
月曜日及大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金（▲五號活字十七字詰一行金[illegible]▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢）
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

社說

韓鐵の撥下說

韓國鐵道の經營に關しては曩きに中央集權の主義に基き統監府の所管を變更して之れを鐵道院の所管に收めたるが、這回朝鮮合併後は又該總督府の所管に復歸し其獨立經營に委せしめんとする內議もある由なるが茲に問題たる朝鮮には既に着手中の京元湖南兩線の建設及び京義線の改築を始め建設改良費を要するもの多きも現在の韓國鐵道の純益金は微少にして之を支辨するに由なく左ればとて併合後の朝鮮特別會計は經費多端一般會計の補助に頼る觀も尠からざる樣子なれば鐵道の資金迄をも調達し難きものあり現在に於てする京元湖南兩線の建設費を支辨する爲め政府は韓鐵をして其持株に對して三百五十萬圓の配當を爲さしめ之を振向けつゝあるの狀況なり而して滿韓鐵道は軌道を同くするのみならず安奉線の開通と共に相互の連絡成りて關係首尾の如く相離る可からざるものあれば之が經營は寧ろ何れか一方に統攬するを便宜とするの事情あり又兩鐵道の經濟狀況を見るに韓鐵は前述の如く頗る窮乏せるに反して滿鐵は營業狀況年々進步を示し現に本年度よりは政府に三百五十萬圓を上納して尚ほ綽々の餘裕あるを以て此際兩鐵道を併合すれば有無相通じて韓鐵の建設改良費の支辨も圓滑なるを得べきなり然れば朝鮮合併後の韓國鐵道は韓國に於ける未成線竣成期間を短縮するの條件を附して之れを滿鐵會社に拂下げしめ資力豐富なる同會社をして縱橫の經營を爲さしむる事上策にて朝鮮總督府たるものは斯くて現業の煩雜を脫し單に之れが監督權を收むれば可なりとの說政府部內に勢力あるものゝ如し

大赦出獄者の數

別項記載の如く大赦の詔勅發せられたるが大赦を受く可き罪囚の數は朝鮮全體を通じて約九百名內京城に二百八十名ある昨二十八日檢事は是等に對し夫々訓戒を與へて警察に引渡せるより警務總監部にては各個に誓書を爲さしめ放免したる中には旅費無き爲に歸鄉し得ざる者もありたるより總監部は旅費を給して歸鄉せしめたるが其筋にて將來之等に對して監視を嚴重にする由因に彼の玉置事件の趙南升も出獄したり

寧邊と工業資金

平北寧邊は歷史上由緒ある地方なるも商工業地としては從來餘り重きを置かれざりし處なるに近來付近鑛山に對して採掘許可を得しもの多く又已に事業に着手せしものありて茲に俄かに工業資金の需要を喚起し同地の平安農銀支店の工業資金の如き是迄殆ど言ふに足らざるものなりしに右の爲め支拂送金爲替手形の支拂著しく增加し昨年下半期は支拂額六千四百三圓五十錢なりしに本年は上半期に於いて三萬〇五百五十圓といふ激增を示し猶ほ七月には一箇月にて一萬三千三百三十四圓六十三錢に達し如何にも急激なる增進を來たせる爲め農銀支店にては其の支拂資金に窮し一時その支拂を中止するの止むを得ざるに至りしが斯の如きは全く未曾有の現象なりと而して以上資金の重なる取引者は日人八名、朝鮮人四十六名米人四名にして其の支拂地は邑內郡內及び雲山地方とし又その被仕向地は平壤及び京城とし猶ほ以上の資金は砂金事業に要するもの最も多く其額三萬一千三百五十七圓に達したりとのことなり

仁川輸出品の概況

△米　地方より弗々廻著するものありて庫入物も品傷の時節柄賣急ぎ旁々落況を呈し輸出額前月に比し一万一千九百餘圓の增進を示せり而して月末在米の叺數は白米四、八六玄米二〇、九八四

△籾　米況に伴ひ多少の變動ありしも大体に於て安氣配たるを免れ得ざりき月末の在荷は一萬二千〇四十一俵

△大豆　本月中の輸出額は八万四千餘圓にして前月に比し四万二千餘圓の增加を示せり而して前途益々好況の姿にて相場二十錢方騰昇し手堅き成行きにて月を越したり月末の在荷は五千三百四十一叺

△小豆　本月中一萬二千五百九十四圓の輸出ありて前月に比し一万一千一百餘圓の增進を示せり而して產地より本邦向け及釜山行として發送するもの多く仕掛への廻著潤澤ならざりき御月末在荷は四百八十六叺

△大麥　未た新穀の出廻はりもなく沈靜の儘月を越したり

△小麥　中旬後新穀少數廻著したるも何分產地高と本邦相場安とにて當手もなく人氣引立たざりき月末在荷三百六十五叺

△荏胡　出著品なし相場は安含み

△白栗、黍、五倍子　等は何れも出廻りなく相場も前月來保ち合にて變化なし

△牛皮　本品は需要地に於て在荷潤澤の爲め久しく賣れ行き沈靜を持續し居たるが近來新皮に向つて稍々買氣を生じ來れるものゝ如し未た當滑には新皮の廻著少數にて取引振はざるも相場は既に强含みの姿にて月を越したり

地方通信

▲平壤通信

▲韓銀砂金買收額　平壤韓國銀行支店に於ける砂金取扱高は本年解氷期以來著しく增加したる事は屢記する所の如くなるが今本月の同支店砂金課に於ける買收額を聞くに去る二十三日迄の分にして既に約五十貫目此價格同十九萬三千五百圓に上りたるが今後猶月末迄には約一週間の餘日を存すれば本月中の同取扱高は少くも六十貫は超過すべく隨て之が買收額に於ても同二十三四萬圓に上るべしと云ふ

▲最近輸入貨物　廿三日鎭南浦に入港したる溫州丸積載の貨物麥粉陶器硝子板等千六百二十七個此噸數百九十五噸同筑後川丸積載貨物陶器硝子板等百七十七個は何れも廿六日着壤せり

▲高等學校建築と移轉　目下建築中の高等學校の工程を聞くに既に殆ど竣工し昨今は內部に於ける增作工事中なりし一方地均工事に於ても之亦其九分通りを了し既に新構內に移轉したるが全部の竣工期は來九月十日迄の豫定なるも同校にては大に工事を取急ぎ一般工夫等を督勵し進捗を期し居れば多分豫定期限迄には竣工すべしと

▲興業倉庫品の近況　韓國倉庫會社當出張所の最近在庫品狀況を聞くに本月初旬に於けるものに比しては幾分減少せる方なるが一般穀物の內過日の降雨以後米及び粟の如きは多少價格を持直したる由なるが今後の狀況に就ては昨今未天候の定まるに至らざれば豫想し難く粟は既に其大部分は荷捌けを爲し目下少數を止むるのみなるが米に至ては過般一時意外に好景況を示したる際一般に買占めたる向きの其後豫想に反し下落したれば目下何れも空しく手控へをりて其量額等少からずと云ふ

▲水道給水料問題　韓國に於ける水道給水料は一般に不廉にして民力と伴はざるものあるを以て自然需用減少の傾きあり近く通水すべき仁川水道も同樣批難の聲あり斯くては折角通水しても其效用薄く又一方水道局側より云ふも不經濟の極みなれば仁川民團にては其値下方に就き當局者へ交涉すべき議あるやに聞けり

講談

大岡政談　越後傳吉

第六十一回　旭堂南陵講

庄「斯う」庄左衞門の二人伜の女と娘を起して見ると、この婦人も此處へ抱かれて來るまでに、打たれたり、蹴られたりしたのか、身體の痛んで居るため僅の一刀だがうれがもう致命傷、橫ッ腹から胸へ掛つて居てモウ冷たくなつて居る　庄「親父さん、是や迚も助からぬ　庄「ア、飛んでもない事を遣たナ、殺す氣でなくて殺したんだが、それでも矢張り庄左衞門はこれで人殺しだナ　庄「爾うだ、殊に親父さんと乃公とで殺したんだから、親子二人が人殺しだ　庄「ウム全く然うだ　庄「困つたなア是やア……、默つて打遣て置く譯に行かず、人を殺したんだから所詮人殺しの罪は免れぬ　庄「何うしたら宜からう……」庄「何うしたら宜いだらう困たなア」惡人ながら流石に二人の奴、腕を拱いで、何うしたら宜からんと思案に暮れる、何方も思はぬ人殺し、咄嗟に演いた椿事、途方に暮て居る折しもあれ向ふからゴポリ〳〵と泉河原の淺瀨を渡りながら明松を振翳して來る、一人の男がある　庄「親父さん、變なのが來るせ氣を注けりや不可アぬ見られちやアならぬ、顏と顏とを見合つて二人が暗中に身體を偶觸したとは露知らず、此所へ來掛るのが當講談の主人公、寶田村の名主傳吉……抑も此處へ通り掛つた計りに身に覺えなき冤罪を受け、二十一度まで拷問の臺座へ上げられるといふ災難が湧いて來るので、人間といふものは誰に限らず何所で何う云ふ災難があるものか解らない、今頃何用があつて傳吉がこの泉河原をわたるかといふにこれにも一條のはなしがある丁度まへのばんのことお仙と傳吉夫婦なかよくやすんでしまひ、翌日傳吉が野良仕事を終ふて歸つて來ると、夜食の膳に差向ひ、食事をして居る時にお仙が、何となし顏色が惡いから傳吉が　傳「お仙や、何か甚ア考へて居るやうだが、何處ぞ惡いのぢやアねエか　仙「旦那どん、へ、妾ア身體は惡くねエが、お前さまに今朝から云はう〳〵と思つて居る事があるだ、氣にしなさると思つて遠慮して居りましたが、甚ア惡い夢を見ました　傳「オヽ然うかね、善い夢なら話をしなさんなだが、惡い夢は話をしなさい、夢は爭はれねエもんだ、お仙や何う云ふ夢を見ましたゝ　仙「旦那どんへ、お前さまがのう　傳「フム　仙「結構な冠を被てお裝束を着けて馬に乘つてござつた　傳「ハテナ乃公のやうな百姓が……　仙「スルト甚ア廣イ河がございます　傳「フム　仙「然うしてその河が悉皆と氷で凍てしまふてあるでがす　傳「アヽ、そりやア隨分あるでのう越後ちやから河が氷で凍ゆる事は……　仙「スルと旦那どんがその氷の上を馬で渡んなさるからア、危ない〳〵、旦那どん水が割れたら何うしなさるだらう、アレ夢……んな處を馬で渡ると、私ア夢心地だが甚ア心配して見て居ると、平氣で旦那どんは氷の上を馬で渡んなさる　傳「ハア　仙「ところが眞中へ行くと、案の定ダラ〳〵ッと氷が割れましたゝ　傳「ウム　仙「アッと思ふたら、旦那どんは馬と共に水の底へ沈んでしまつた　傳「ハア　仙「妾ア吃驚したでがす、何うしたら宜からうナ、旦那どんは水の底へ沈んで何うかして助けやうと思つたが、何しろ廣い河だから、お前さま女の業では仕樣がない心配してウロ〳〵して居たゝスルと東の方から日輪さまが二ツ重なつて上りになつた　傳「ハア　仙「アレ日輪さまよと、お願ひ申さうかと思ふて居る間に夢が覺めたでがす、旦那どん何う考へても妾等は旦那どんが水の底へ沈んだから心配で堪らぬねでがすが何うでせう旦那どん　傳「アヽ善い夢ぢやアないのう、乃公が水の底に沈んだ夢だから、それぢやアどうするだのう、お仙、斯う云ふ事を氣にして居ちやアならんねエから、是から宮戸村の近藤卜齋と云ふ易の先生所へ乃公ア一寸行つて來やう、彼の人はねらア上手な相だから、近藤卜齋さんの方で夢判斷をして貰つて來やうと斯う思ふだ、一寸行つて來るでのう　仙「旦那どん濟まぬ事だがうれちやア賴みますだ　傳「アヽ宜し〳〵夢判斷をして貰つて來やう」斯う衣類を着更へまして、今晩は何となしに空模樣が惡いから、何う〳〵提灯がなうては成らぬと、用意して、傳吉わが居村を出て宮戸村へ參りました。



●諸公債諸株券　現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達
京城本町三丁目　大坂野村德七代理店　田中友吉商店　電話九九三番　發電略（タ）

名譽銀牌受領　キリンビール

至急廣告
元南山分校舍拂下　日本建瓦葺古家　百三十坪餘
右割安に賣却致候御望に依り幾坪にても分賣致し運搬改築の御依賴にも應じ申可候間御用の節は御遠慮なく左記に御申越被下度候
龍山漢町二十三番戶　大梅健治
京城市內の御方は電話百〇一番笠井商店へ御申越願上候

緊急廣告
龍山桃山遊廓地
貸地約三萬坪
貸家約八十軒
右は今般警務總監部に於て風紀取締上市內に散在せる飲食店及小料理店營業者を短日の間に京龍兩遊廓へ立退きの嚴命有之候に付ては各營業者諸士の御便宜を謀り一面桃山遊廓發展を期するため
地料　八月より向ふ一ケ年間無料
貸家　八月より向ふ四ケ月間無賃
貸與致候
御希望の方は京城旭町三丁目畑彌右衞門方へ至急御來談有之度候
龍山桃山遊廓事務所

診療開始
迂生儀今般大韓醫院を辭し左の處に於て外科患者を診察す
此段辱知諸君に謹告す
鈴木謙之助

專門　一般外科
診察　每日午前八時ヨリ正午迄　月水金午後四時ヨリ七時迄
休業　每日曜日及大祭日
場所　旭町一丁目六十七番戶　日ノ出湯裏
鈴木外科醫院　（電話六九二）

勉强する藥店は
電話三百九十六番　木下大盛堂藥局
京城本町五丁目六十一番戶

●注意●
米國プロクター、エンド、ギャンブル會社製品
IVORY SOAP　アイボリー石鹼
Procter & Gamble, Cincinnati
包裝ノ「アイボリー石鹼」ノ日本文字アル者ハ舶來品也
欺カルヽ勿レ

大聲蓄音器●葉巻煙草●洋酒類新荷着
歐米雜貨洋酒食料品 洋煙草類金銀屬美術品 直輸入商
京城本町二丁目 辻屋
本店電話二四八 支店電話三六六 韓國振替口座八七

寺内統監と條約

京城新報

過去を語るは老人の事だ、余輩は未だ老境に達せぬ、故に過去を語るは余輩の耻づるところだ、併し物事は順序を逐ふて語らねばならぬ、故に余輩は玆に左の數言を述べる。

余輩は個人としては明治三十九年中時の有志の驥尾に附して日韓併合を提唱した、社會の機關京城新報としては實に四十年より四十一年に掛て日韓併合を公けに論じた、當時故伊藤公は深き思慮を以て余輩の主張を壓抑された、併し余輩は公の壓抑に甚大の意味あることを知りつゝも尙主張の公開に勉めた。責任ある當局の公としては余輩の主張を壓抑する當時の事情に照して實に止むを得ぬ事であつた、併し併し怪しむべきは當時の世論であつた。

世論中伊藤公の所謂軟弱政策を攻擊するものはあつた、公の所謂華麗政策を罵るものはあつた、併し其大部分は公の政策を謳歌せるものであつた、雖有迷惑最負の引倒しとは公の政策に對する當時の世論であつた、公の心細く且つ頼甲斐なく感ぜられたるも左こそと察せらるるが余輩に於ては世論の無意義なるに失望した。今や日韓併合成る次で尋ぬれば故藤公が今日の事に大に意を致されて居つた事が明瞭となつた突飛の觀ありし日韓併合論の主張者我京城新報が偶公の一願を受けて居た事實を知つた、余輩の面目何物か之に如かん。

余輩の考を以てすれば今より四年前に於て實現すべかりし日韓併合條約が今回寺内統監及び李總理とに因つて調印された、條約文はまづ以て完全なものだ、而して世界に前例なき點に於て新例を出したものだ。嗚呼今より四年前或人の手に因つて所謂併合條約の草案なるものが起稿された、此草案と今度の條約文とを比較すると似たとは愚か殆んど同じ物だ、余輩は此偶然一致に就いて一驚を喫した。

併し如何なる條約文も單に條約文としては之を作るに容易なるものだ、亦たこれに對する調印を爲すにしても單に調印を爲すのみなれば容易なる事だ、只困難とするは斯る世界に前例なき而かも重大なる條約を締結するに當つて總てが談笑の間に決せられ無益の血を流し或は無意義の騷擾を見ざる事だ、我帝國政府は寺内統監に因つて理想的代表者を得た、前韓國政府は李總理大臣に因つて理想的代表者を得た、此二人者を代表者となしたる兩國政府は幸福であつた、條約は無事に調印された、而かも談笑の間に無事に調印された、我天皇陛下の二代表者の勞を嘉納し玉へる素より偶然に非ずだ。

終に臨み考ふべきは今後の事だ、條約の調印難事に屬すと雖ども云はゞ出來得べき事を出來した迄の事だ、寺内將軍の爲すべき事業は將さに今後にありだ、將軍の施設宜敷を得ば半島は正に復活する、若し而らざるに於ては半島は帝國の厄介物と化する、將軍の職責は實に重大なりと云ふべきである。

東京電報

▲併合顛末の伏奏　桂首相は本日參内して日韓併合の顛末を伏奏せり（廿九日）

▲併合と臨時閣議　本日桂首相以下各大臣内閣に參集して臨時閣議を開き日韓合併後の諸般政務に就て協議したり（同上）

▲併合發表と市中　本日日韓合併條約發表せられしも國民は冷靜の態度を持し居り東京市中も朝鮮人に對する同情により今夜提灯行列を行ふ外極めて靜肅なり（同上）

▲併合と曾禰子爵　病狀は益々衰弱を加へ精神混濁して言語不明なり注射は毎日四回乃至五回宛施行しつゝあり日韓合併發表後桂首相より電話にて時局の經過を報告し統監就職中の勤勞を謝したるが令息寛治氏取繼ぎたるが唯首肯せしのみなりと（同上）

▲日韓瓦斯の總會　日韓瓦斯會社は昨二十九日株主總會を開會今期の配當案年六分を議決し續て重役の改撰を行ひたるに總て重任さ決したり夫より重役の報酬八千圓を一萬五千圓に增額の件提出せられしに異議百出したるが漸く折合附て一萬二千圓の增額を是認したり（卅日）

▲奉告使の御差遣　日韓合併の奉告勅使として九條掌典次長を伊勢大廟並に神武天皇孝明天皇御陵へ參向仰付られたり（同上）

▲併合と倫敦市場　日韓合併の報英國に傳はれるも倫敦株式市場には聊かの影響なかりしと本日日本銀行に入電ありたり（同上）

▲東京市の祝賀會　昨日東京市參事會員同商業會議所員は東京府知事と協議の結果出來る限り盛大に日韓合併祝賀會を本日午後三時より上野精養軒に於て開催す（同上）

▲曾禰子爵の陞叙　曾禰子爵病氣危篤の趣き天聽に達し本日左の如く御沙汰ありたり（同上）

從二位勳一等子爵　曾禰荒助
特旨を以て陞叙正二位旭日桐花大綬章を賜ふ

▲王世子と御用掛　日韓併合の結果王世子殿下の待遇は多少異るも伊藤博邦及び古谷久綱兩氏其他の御用掛に變更なし（同上）

▲東京の提灯行列　東京府市より韓國合併に就き賀表を奉呈し昨夜提灯行列を爲し二重橋外に於て陛下の万歲大日本帝國の萬歲を唱へ市中は壯觀を極めたり（同上）

▲寺内總督に感謝　東京市に於ては日韓合併問題解決に於ける寺内總督の勳功を讃賞し市民より感謝狀を贈呈すべく協議中也（同上）

雜報

條約消滅と外人

舊韓國が列國との間に締結せる各條約は今回の日韓併合條約施行と共に消滅すべきは既報の如くなるが其結果外國人の裁判及法律の適用並に關稅噸稅及沿海貿易は左の如く決し警務總監部は之を各道警務部長に通達したり

▲●懸案中の領事裁判●　治外法權の下に行はれたる領事裁判は當然撤去さるゝに至りたるも現に過去の事實に屬し懸案中の事件に就ては尙は領事裁判を繼續する事を得るものとす

▲●日本法律を適用●　朝鮮に於ける司法事務は原則として朝鮮總督府所定の法令に依るべき筈なるも外國人の文明程度は未開の朝鮮人と同樣に律し難き事情あり故に外國人に對しては成るべく日本の法律を適用する事に決せり

▲●外國人の沿海貿易●　對外貿易は開港場に限るを通例とするも舊韓國と外國との條約は開港場以外の沿海貿易を許るしあり這は帝國の對外條約と撞着の嫌あるを以て當然廢止さるべき筈なるが政府は列國の既得權を尊重して向ふ十箇年間依然之を認め置く事となれり

▲●開港噸稅も亦繼續●　朝鮮に於ける關稅噸稅は二十九日發布制令第四號を以て當分の内從來の稅率を賦課する旨定められたるが右當分の期限は沿海貿易と等しく向ふ十ケ年間なりと

明石總長の訓戒

天皇陛下日韓併合條約の發表と共にの聖旨を奉體して二十九日午後朝鮮各地監獄に繫留中なりし既決未決の囚人九百餘名は夫々皇恩に浴し釋放せられたるが京城に於ても別項の如く二十九日午後四時より京城鍾路兩監獄の囚徒二百八十餘名を第二憲兵分隊の前庭に集合して明石警務總長より左の訓戒を與へ釋放したり

日韓合併せられしに就き日本　天皇陛下の聖慮により大赦の令發せられ玆に前罪を赦免釋放す是れ一扁に日本　天皇陛下の御恩澤に基くものにして汝等一同は深く心膽に感銘して決して忘却すべからず一同の犯罪は内亂其他犯罪に區別ある輕重あれども其の法律に違背せし科は同一なり然るに今日　天皇陛下より斯くも有難き大赦の恩典に浴すると云ふは殆んど稀有の事にして韓國に於ては從來屢々大赦を行ひしかの如く聞くも日本に於ては殆んど其例乏しく決して再び之あるべきにあらず今回の大赦によりて從前の犯罪は全く消滅して他の良民と均しく清淨潔白の躰となるが併し今後再び罪科を犯して捕縛せらるゝが如き事あらば今回の合併の結果日本臣民となれる故に日本の國法により處斷せらるゝのみならず大赦の御思召に背く不忠の臣となるべし汝等一旦釋放せられて夫々自由の身となるも再び犯罪せば自分が警察の職に膺る以上は警備の機關は十三道に洽く身は京城にあるも自分の眼光は朝鮮全土に徹透して聊かも漏す所なく嚴重に檢擧して假借せざるべし故に各自は此の　天皇陛下が汝等の身上迄も綏撫を垂れ玉ふ聖慮に鑑み深く行動を愼まざるべからず今回の日韓兩國合併の擧は韓帝の御趣旨に基きたるものなるを思ひ各々生業に安じて行狀を正ふすべし

併合と韓字新聞

韓字新聞は別記の如く昨三十日より改題したるが今各新聞の論調を見るに何れも社會の先覺者を以て任ずる操觚者丈けありて日本　天皇陛下並に前韓皇の發せられたる併合の詔書に何等の疑惑を抱かず就中民報は韓國合併の詔書並に韓國併合條約を奉讀すと題し君臣の大義を說き日本　天皇陛下の臣民となりし上は宜く　天皇陛下の忠良なる赤子とし誠心誠意を以て文明の聖化に歸順し以て寧福を增進せざる可からず若し之に反し徒に悲歌慷慨し志士の面目を表飾せんとするが如き者あらば此れ自ら誤り人を誤るの甚しきものなりと論じ又毎日申報は同化の趣意と題し國境を撤して同一國民となる今後兄弟相共に和衷共同して東洋の平和を保持し世界文明に貢獻せざる可すと論せり

●併合と下層朝鮮人　韓國併合の事公式に發表さるゝに於ては或は多少の動搖有らんかとの杞憂を抱く者無きにしもあらざりしが現今の場合より推想するに何等の事無かる可しと斷することと實に至當の見解にして特に下層朝鮮人等は統監府施設以來各種の事業勃興して勞働者を要すること幾層倍加し其勞働に從事して賃金を得且つ之に依りて日常の生活をして容易ならしめたる甘き經驗を嘗めたるより彼の輩は日を追ふて勞働に服するの傾減を生じたるは誠に嘉みす可き現象なり然るに今回韓國併合せられ彼等は善良にして進步せる政治の下に生活することゝなり加之是れより諸種事業企畫實行せらるゝことゝなれば下層朝鮮人等に取りては百利ありて一害無きこと火を睹るより瞭然たるなれば如何に事理に暗き朝鮮人とても徒らに野心者の口車に乘せられて騷ぎ廻はる事萬々なかるべく還つて下層朝鮮人は今後安心して勞働に從ひ得ることを寧ろ悅び居るならん云々と或筋にて語り居れりと

●仁川水道工事近況　仁川水道工事は目下着々進行中にて水原地たる鷺梁津より永登浦迄は業に竣工せしが先日の大雨の爲め少しく破損を生じ廿九日松田所長出張復舊工事をなさしめたり而して松林山貯水池へ通水するは來月初旬頃にて又鐵管の掃除に約一周間を要すべく一般市民に良水を供給するは中旬頃ならん因に竣工の際は盛なる通水式を擧行する由

●韓字新聞悉く改題　日韓併合に伴ひ京城に於て發刊の大韓新聞は漢陽新聞●大韓毎日申報は毎日申報と●皇城新聞は漢城新聞と●大韓民報は民報と改題したり因に大韓新聞は從來韓政府の御用紙なりしが漢陽新聞と改題すると共に從來の關係を絕ち獨立して經營する事となりたりと

●參與官會議の開會　三十日參與官會議を統監府にて開會し正副統監を始め荒井、木内、倉富、俵、石塚、小松の各參與官大屋、池田兩長官明石總監等出席したり當日宇佐美參與官、國分參與官は缺席せりと

●詔勅及諭告の掲示　内部は二十九日發表されたる寺内統監の諭告及韓皇の詔勅を三十日各道に向け發送せり右は一般人民に周知せしむる目的を以て各郡二枚宛要所〳〵に掲示する由

●教科書全部の改正　朝鮮に於ける從來使用し來れる各種學校の教科書は此の際全部改正し明四十四年度之れを使用せんとて目下調査中

●納稅の免除と内部　二十九日制令第三號を以て地稅特別免除に關する件發表されたるが内部は右に關し各道府に向つて三十日通牒を發する處ありたり

●表勳院多忙を極む　昨今表勳院は空前の多忙を極め居る姿なるが今回勳記八千、勳章三千以上の製造に着手し其竣成を急ぎ居る爲め頗る忙殺されつゝありと

●雜誌朝鮮解停さる　時局問題を掲載し發行停止を命ぜられたる雜誌朝鮮は二十九日解停されたり因に同誌は九月十日頃併合紀念號を發行すると

●平北新義州の開港　日本政府は朝鮮沿岸に於ける從來の開港塲の外更らに平安北道新義州を廿九日より開港塲として告示せり

●大東新報の押收　浦鹽にて發刊しつゝある大東共報は今回大東新報と改題したるが其第二卷四十六號及四十七號は治安に妨害あるものと認められ三十日其筋に於て押收處分を爲せりと

●大津代議士歸東　過般來政況視察の爲め入京して京城ホテルに滯在中なる大津淳一郎氏は一日南大門發列車にて歸東する筈なるが途次馬山に立寄り同地の海軍設備を視察する筈なりと

併合發表後の市況

時局解決發表と共に多少の騷擾は免れざるべしと豫期せしに事實は全く之と反して市内極て平穩の狀態にて喧擾の焦點たる鍾路の如きも平日に變らず各自其業に安んじ此萬歲一遇の大問題を解決せし當日とは思はれざる程なりし殊に同胞の稀薄なる場末を逍遙するも何等危懼の憂なく唯た所々に貼出されたる統監府諭告に就き所在群集せるを見るも之れ又何等の異狀を認めず却つて喜色を湛へ居る有樣にて警備の任に當り居る者何れも寧ろ意外の感に打たれ手持無沙汰を喞ち居る姿なとり

●出獄囚鴻恩に感泣　今回の大赦に依りて放免となりたる全土の罪人中京城監獄及西大門分監にありたる囚徒の既決四三百八十一名（内女八人）未決十二人は二十九日夜午後十二時頃より中川檢事正立會の上各出獄の手續を爲し明石警務總長は將來の心得方に就き懇々と訓諭して地方の者には各旅費（一日十五錢の割）を給し衣服なき者には之を與へて赦免（京の者六十名は所轄警察署へ一時渡して昨朝放免したり）したるに一同天恩の弘大なるを今更らの如しに思ひ中には感極りて泣きたる者もありしと

●放免囚徒の犯罪別　大赦に依りて放免さる可き囚徒數は其後益々增加し入監中の者のみにても約千名あり猶此の外にて檢擧及び警察署に在る者又は逃走中の者を合せば實に多數に達する由なるが犯罪の種類は内亂罪（刑法大全百九十九條）暴動（六百六十七條）及其他主として政治上に關係せるなりと

●上流朝鮮人の謹愼　中流以上殊に相當地位ある朝鮮人は痛く世間の誤解を恐れ昨今戶を閉ちて來客を謝絕し若しくは來訪を他に避くる者頗る多しと

●全南地方稻作狀況　光州財務監督局よりの報告に依れば全羅南道光州郡及南平郡に於ける稻作の狀況は插秧當時適量の降雨ありたるを以て各地共插秧を了したるも七月中に於ける數度の大雨は數十年來なき洪水となり從て浸水區域も廣濶なりしが幸ひ浸水時間短かりしを以て一部の被害地を除くの外概して生育旺盛にして發育良好なり今後目下の天候を持續せば平年以上の收穫を見るべしと

●時局の解決と財界　遠山天一支配人の談に據れば時局の解決と朝鮮側財界との關係は意外に平靜の觀あり尤も貸出に於ては多少減少は免れざりしも是れ時局の推移上當然の影響にして怪むに足らず併し預金は世間種々の流言ありしにも關はらず常態を持續して健全を失はず以て時局に對する朝鮮側一般の感想程度を測知すべし云々と

●試製煙草の好成績　度支部臨時財源調查局にては日本製「朝日」を最上標準として日本產葉八割米國種試作葉二割、米國葉三割五分、日本種試作葉六割五分等の割合にて種々の紙卷煙草を試作したるに頗る上出來なりと云ふ

●三井物產新築落成　京城本町一丁目に新築中の三井物產會社支店は落成を告げたるを以て近々盛大なる披露會を爲す由

●伯拉爾公使の視察　伯拉爾公使内田定槌氏は廿八日入京し廿九日は當地工業傳習所を視察したり

●大津代議士歡迎　當地茨城縣出身の諸氏は三十一日午后六時目下來城中なる大津代議士の爲に京城ホテルに於て歡迎晩餐會を開く由なり因に同縣人は出席隨意なりとの事なり

●村田代議士入京　衆議院議員村田虎次郎氏は廿九日入京京城ホテル投宿

●大内代議士出發　入京中なりし衆議員議員大内暢三氏は廿九日退京せり

▲龍山雜信▼

▲前親衞府長官李秉武氏以下同府參領以上の將校數名は今回駐劄軍司令部附を命ぜらるゝこととなりたるを以て昨三十日龍山軍司令部に大久保司令官を訪問し新附の挨拶を爲せり

▲三十日午前迄に軍司令部に達したる各地の情報を聞くに何れも極めて靜謐に向後とも擾亂の勃發すべくも思はれざる程の狀態なりと

▲新任の慈惠病院長秋山三等軍醫正及松本三等軍醫正以下九名は昨三十日軍司令部に出頭し新任の挨拶をなせしが近日中出發赴任すべしと

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
三十日	一五一、三七四圓、〇六	三八二

▲仁川米豆取引所▼

▲前塲（三十日）　八月九月出來不申▲十月一節九圓五十一錢五十錢▲二節五十錢▲三節五十錢▲出來高一方三千九百五十石

▲後塲（三十日）　一節九圓四十九錢▲二節九圓四十九錢八錢九錢▲三節九圓四十九錢▲出來高一方一千六百石

▲大阪期米電報▼

▲前塲（三十日）　八月限寄附十三圓八十錢▲九月限寄附十四圓十二錢▲十月限寄附十四圓二十九錢

▲前塲　八月止十三圓七十六錢▲九月止十四圓四錢▲十月止十四圓二十三錢

▲後塲（三十日）　八月納會▲九月限寄十四圓七錢止五錢▲十月限寄十四圓二十三錢止廿五錢

▲仁川港出入の船舶▼

▲福州丸　三十一日入港（大坂より）同日正午鎭南浦へ向け出港の筈

▲信濃川丸　三十一日入港（大連より）同日午後五時長崎へ向け出港の筈

▲治外法權▼

綠泉亭から憲兵隊の司令部へ通ずる間道の右側なる大きな自然石に故博文公の筆で寶祚天壤無窮と彫付けてある、之を以て見るも藤公が夙に今日あることを豫期せられて居たのは明白なる事實だ▲大隈伯曰く日韓併合は成りし日に成りたるに非ずと嗚呼今日迄の大犧牲、此大犧牲を捧げて領有せし我半島は吾人にとつて貴重な紀念物だ▲日韓併合祝賀會に就き衆議院の申出に對し貴族院が拒否したのは至當の事だ、若しも併合祝賀會をするものとすれば其事はまづ朝鮮人側から企てられねばならぬ、朝鮮人が進んで祝つて後に内地の人や亦移住内地人の方でやつて遲くはない▲尤も祝會の意味でなくて内地人朝鮮人合同の懇親會ならイツやつても良い▲併しソレとて必要に迫られて居ると云ふ譯でない以上急いでやるには及ばぬ、何事も來らんとする天長節だ、此大節には舊新日本臣民大合同で盛んに奉祝し陛下萬歲の聲を此處より遙き千代田城へ達しさせる樣にシタイ▲伊勢の太廟を半島へ分祀するの議がある陛下の離宮を馬山へ設けらるべしとの議がある、何れも新附の民の精神陶冶に必要な事だ▲ダガ茲に考へて置かねばならぬのは佛教殊に本願寺派僧侶の精神的敎化を名として半島へ入込む事だ、朝鮮人の風俗は今やイー加減頹廢を極めて居る、ソコへ越後や能登で成効せる本願寺がアノ式を以て臨み、あそり立てなばドコ迄惡くなるかも知れぬ、ウソも方便などと云ふ輕薄な敎は朝鮮人には禁物禁物▲寺内統監の諭告文が市中の各所に張り出された、讀んで居る新附の民は何れも喜色滿面の樣だ。

外人の視たる半島

右記事本日休載

免除租稅の内容

[illegible]

△地稅　[illegible]に於ける本年度[illegible]すべき地稅金の總額は六百三十萬圓ありて今秋期に收むべきは該金の半額は即ち三百十五萬圓此の五分の一六十三萬圓[illegible]

△未納金　隆熙二年以前の地稅金にして未納なるは總計三百七十五萬圓あり

△社還米　は米粟籾等にして約十一萬石あるが本年度貸付たるは該石數の三[illegible]對して免除さるゝ事となりたるが之れ金額に換算すれば約三十三万となるなり之を要するに今回免除さるゝ稅金の概算は約七百餘萬圓なり

[illegible]に時局解決の評漸く喧傳さるゝや本國人にして新領土に望を屬する者多く既に約二ケ月前より直接若しくは書信により京城商業會議所宛商農狀況を調[illegible]々の照會多く何れも解決の如何により渡來すべき覺悟の由なれば極めて圓滿なる解決を告げたる今日に於ては又々翕然たる新渡來者の盛況を見ならん

南東[illegible]

（第三種郵便物認可）

免除租税の内容

[illegible]期に收むべき該金の半額は即ち三百十五萬圓此の五分の一六十三萬圓[illegible]

△社還米は米粟稗等にして約十一萬石あるが本年度貸付たるは該石數の三[illegible]り之を要するに今回免除さるゝ税金の概算に約七百餘萬圓なり

△未納金　隆熙二年以前の地税金[illegible]に對して免除さるゝ事となりたるがこれ[illegible]

[illegible]に時局解決の評判[illegible]喧傳さるゝや本[illegible]々の商人[illegible]何れも解決の如何に[illegible]既に約二ヶ月前より直接若しくは書信により京城商業會議所宛商農狀況を調[illegible]なる解決を告げたる今日に於ては又々翕然たる新渡來者の盛況を見ならん

排併合祝賀會

▽前途は遼遠なり

日韓併合[illegible]東洋の平和と民衆の福祉を増進せ[illegible]

[illegible]

結果が必ず當國人の幸福を増進する[illegible]

[illegible]併合其の者を祝すると云ふは意味の無いことである況んや祝賀なるものに含む、酒は多く不謹慎の場合酒を要する此の種の[illegible]を至當と信ずるもの[illegible]

[illegible]前途に光明が[illegible]の希望に依つて成つたもの[illegible]も併せられたる方に[illegible]るゝのは當然であらう否却つて一種不[illegible]多少の遺憾がないでもある[illegible]

[illegible]意味[illegible]家主側の誰れ彼れが思[illegible]決して芽出度い氣[illegible]

[illegible]祝賀會などと號して騒ぎ演出する[illegible]れ祭[illegible]

借同居

[illegible]不用の二階を貸[illegible]

家族や雇人は顧る心

[illegible]

西東三人女房

▽主事松さんの心得違ひ

[illegible]しながらも一時の不自[illegible]親の美なる女を下女に[illegible]ぞ詐きて妻の[illegible]を爲[illegible]上より云へば此上なき[illegible]ても或る程度迄は格別[illegible]過ぎて善かつた後で心[illegible]すも判明して居る[illegible]氣が過ぎて悶着を起し[illegible]小役人と云ふは農商工[illegible]元釜山出張所詰な[illegible]當地に轉勤せしとかに[illegible]ある者なるが釜山在勤[illegible]遊皮の剝けた女をと口[illegible]入れたのが山口縣生れ[illegible]少々心安くなつた所で[illegible]判任せしに松子も判任官[illegible]事どて喜んで之を承諾[illegible]棲し居る内當地に轉勤[illegible]より樱子も共に永樂町[illegible]る温突に一戸を構へし[illegible]さて松子一人で足りず[illegible]町遊廓にでも行けばよ[illegible]思想に富んで居る事と[illegible]町或る旅館に下宿中な[illegible]く中下女の雪子(二二)を[illegible]は繁々菓をだしにして[illegible]遊びに行き居りしが其の内松子雪子兩人とも何日の間にか眼が眼れ來り二月三月は袖で隱して居たが遂に包み切れず去月上旬雪子も現居住所永樂町に引取る事になりぬ然るに此の事故郷の妻子の許に風の便りに知らせたる者あることゝて過日妻子一同東西に離れ二家を構へるは不便利は勿論經濟上都合惡しかれば近々渡韓す可き旨申來りしより松さん此の際來られて一大事と暑中休暇を利用して歸省の上渡韓を見合せ貰ふ考へにて去月廿日より姙娠中の松子雪子二人を置いて歸省せしが夫れと知らぬ兩人は妾しが奥さんになるのだイヤ妾しがと毎日〳〵ゴタ〳〵中なりとか浮氣も程度以外にすると後はかくの如し

和歌山城の怪物

▽日本チャリチ一座の鰐

白蟻の攻撃に會ふて不日落城の運命に陷れりと傳へられたる和歌山舊城の濠の中に二十七日午後一時頃忽然として異樣稀代なる一匹の動物現はれて緑の波を動かし一條の渦紋を捲いて泳ぎ廻るのみか折々恐ろしき頭を水上に露はし物凄き兩眼を見かして箕の如き口を開き白く鋭き齒を見するなど兎に角餘り見馴れぬ怪物なるにぞ通行人は吃驚仰天し何物ならんと驅つけて騒ぎ立てたがこれぞ過日來同市築地に於て興行中なる日本チャリチ一座の所有にかゝる身の丈五尺餘りの鰐なりたるが右は兩三日前同座の檻の中を遁れ出でゝ一時行方不明となりたるより同座の者は大に驚き早速其筋にも屆出で附近を捜し廻りたるも一向見當らざりしが何分人身に危害を加ふべき惡魚の事とて頗る苦心中先生いつの間にか濠の中に逃げこみコッチの方が大分廣くて勝手がいゝと濟しこみ悠々と泳いで居た所と分りしが同座の者直樣驅けつけ辛うじて之を捕へ元の古巣の檻に斂めたりといふが此の上鰐迄繁殖せしめられては堪つたものに非ず

奇怪至極な投書

▽口惜紛れの惡口か

水原局八月二十八日后五時より八時迄の扱ひ同日(不明)京城局扱にて本社の受領したる投書に曰く

今回施行せられし文官普通試驗の無効たること

理　由

一、該試驗は公明正大を缺く

二、試驗問題は漏れたり

三、毎日受驗者の番號表を改めず

四、毎日試驗場に於て受驗人を寫眞と對照せずされば受驗者にして代人を出場せしめしものあり

五、故に再試驗を希望す

嗚呼果して信か記者は之を其の落第者が無念晴らしの小策に出でたるを信ぜんとす然れども如何せん多く斯る場合斯る弊の伴ふべきものなるを念へば又多少の疑なきを得ず嗚呼果して虛か　さらば祝せん

死なねば出られぬ大韓醫院

▽墓所へ通ふ間道

近來兎角の評ある大韓醫院は益々院務の統一を缺き從がつて殆んど無責任の狀態にありて醫員看護婦互に黨を樹て相排擠を事とし患者の診察手當等は規定一遍の杓子定規に依るのみなり夫れかあらぬか同院に入院するもの多くは左程ならざる病氣にても三周五周を要し下層民を負擔に苦しむるは未だしも同院醫員は曾つても云へる如く庸醫のみにて腸チブスの療法をさへ知らずと覺しく曩には岩田技師を又梅博士を斃したるに徵すべし一度入院したるものは可成ー否多くは死なねば出られぬどは困つたものなり

十圓紙幣記號變更

▽亞剌比亞數字を用ふ

日本銀行に於て發行する十圓兌換券は從來萬葉體假名文字を以て記號とし來りたるが九月一日以後發行の分より亞剌比亞數字を以て記號とする旨八月十二日の官報にて公告したるも未だ一般に周知せられざるため受授の際危惧の念を抱かしめざるやう所轄官公署に通牒方大藏次官より二十七日各地方廳に依頼せりと一般に注意すべしと

●木浦の日韓併合

全羅南道木浦港居留地外竹洞一の谷櫻抱乙種藝妓トシ子(二二)は昨年暮より日見ぬ一時は輕薄なる浮れ男をして恍惚迷夢の内に一夜の春を貪らしめ數多き娼妓の内に美人と歌はれし怪物なるが晩春の頃より初回、裏、馴染と回を重ねたる人は誰れあらう同居留地外南橋洞に居住せる元珍島郡守たりし某の二男金永驥(三二)と云ふ高襟式の好男子に思ひを焦し同地下山稻荷に願懸けし油揚二つに赤鳥居の献上は忽ち其の甲斐現はれて此の程より身請の相談となりし迄は良かりしも開けば金永驥には本妻が控へ居るとのことに俊子も一時は落膽はしたものゝ一寸伸れば尋とやらで早速身請を甘諾し大金一百三十圓を出金させ大丸屋に浴衣着の優男のやさしき手に引かれて一の谷を出てたりとは芽出度いのか何うか知らず

●爆發物所持者か

朝鮮釜山の生れにてコンゲンチャン(三十)と云ふ男は先頃來安部郡長田村關部隧道工事に雇れ居たるが二十五日午後九時靜岡町貸座敷松見樓に登樓し一圓四十錢の勘定が出來ず却て其勘定の仕方が惡しとて懷中より短刀を取出し亂暴を働きたるより靜岡署に拘引せられ目下取調中なるが此男は過般同停車場にて爆烈物を携帶せりとて其筋の取調を受け居る内逃走したる朝鮮人に酷似し居れりと

●驚いたので死産

東部蓮花坊梨峴百五統一戸僧軍妻明順(三〇)の妻金姓女(二四)は目下姙娠八ヶ月なるが去る二十日午前三時頃明順の不在中同女の熟睡せる際同所百三十五統二戸水汲夫金載彦(三六)なる者飛入り來りし爲めに同女は驚きしが原因となり死兒を分娩せしより金載彦を墮胎犯として告訴せしより東部署に於て取調の結果、證據不充分として放還せられたりと

●羽織ゴロの檢擧

多少法律思想を有する者にしてヤレ明法學士とか何々學士とかの肩書を振り廻はし或は辯護士と自稱して官民を欺き金品を騙取する所謂羽織破落漢多きを以て其筋に於ては該檢擧に從事中なるが昨三十日某明法學士拘引せられたるが犯罪の内容に付ては之を探知し居るも犯罪捜査上妨げに付氏名及事實に付ては後日詳報する所ある可し

●賣掛代金の請求

御成町居住荒木三太郎は南山町二丁目土橋濟作より物品を買受け代金十六圓五十錢を支拂ぬとて土橋より告訴せられ其筋にて取調中なるが多分刑事問題としては成立せざるならんと

●行旅病者の收容

香川縣丸龜市西平町當時住所不定植田鶴(三二)は脚氣に罹り治療の資力なく西部署に保護願出に付行旅病者として民團に引渡したりと

●仁川敷島の遊客

四十八人にして費消金は百二十一圓五十七錢なり一人前三圓三錢七厘强の客樣なり

●遺失

仁川寺町一丁目本願寺住職金永元龍は廿七日午後六時頃宮町一丁目より二丁目の間に於て銀製煙管遺失

目と耳

▲浪花舘　既報の通り三十日三十一日の兩日内地水害地義捐演藝を催す番組左の如し

▲三十日　御祝儀賣の入船(入登)借仰記三の口(廣吉)三かつ平七酒屋(越濱)太功記妙心寺(此重)菅原寺子屋(此千代)二十四孝十種香(仙春)先代萩御殿(隅照)中將姬雪責め・(越春)れしゆん傳兵衞堀川(廣八)三糸(仙平)大切總掛合忠臣藏七ツ目

▲三十一日　御祝儀賣の入船(入登)れてまオ三鈴ケ森(廣吉)先代萩竹の間(越濱)花の上野志度寺(此重)日蓮記勸作住家(此千代)朝顔日記宿屋(仙春)伊勢音頭油屋(隅照)御所櫻辨慶上使(越春)三十三所壺坂(廣八)糸(仙平)大切總掛合白木屋

▲壽座　合同劇卅一日の代り狂言は「是れわ女」三場「千代萩御殿之場」二場「女ハッピソー」四場「滑稽怪談雨夜之空傘」三場

●種子の無代配布　岡山縣邑久郡長船農事試驗場にては荷造費として切手十錢を送れば例年の通り實驗上有益の種苗及西洋新草花二十種を何人にも無代配布する旨同場より通知あり

▲平民文庫▼

▲廿九日の午後長谷川町料理店菊の枝の亭主が本社を訪ねて二十七日の本紙に掲せた「發狂悶婚の放逐」なる記事は事實相違だと申込んで更らに材料の出所を知らせよと大層な權幕▲だが殘念なことに彼れは警察署の報告にあるのだと云つても警察署に其樣な事を云ふ譯がないと分らぬことを云ふ▲段々聞いて見ると右は口入業者明治屋の店員櫻井が六十圓の金が無いと困ると云ふので泣き附かれたのを斷り兼ねて三日程の約束で貸した金を返す迄と十九日に櫻井が預けた女だ相な▲夫れが少々キ印と云ふ譯なので廿二日の八時頃明治屋へ又預けた翌二十三日店員同道大門驛附近に行つた所を巡査に見とがめられたので明治屋に保護を申附けられたのだ▲然るに櫻井は其の金を返さずして二十七日逃走したのだと云ふのだ氣の毒だが夫れは此方の知つたことでないとして其の女は一つも打擲はせぬと云ふのだ▲人を摸るのな此樣に器いてと〻知つて居る位だから乾度摸らなかつたのだらう▲序を以て申すが新聞に何か書かれると怨んだり騒いだりする人があるが大間違ひだ初めから書かれん如にするが宜い(風聞子)▲小僧君早速御教示下さいまして難有御禮申上候僕は今事皆困りて居るのですが警官を煩はしても工事落成と共に本人は無一物です僕等の考へでは若しや金主の方のを幾分か分配して共損と云ふ事に出來ない者でしようか(パテック生)▲夫れは相對づくの話で机の上の議論計畫では駄目だ實際問題だから出來るか出來ぬかは打突つて見ねば不明ますまい(小僧)

社告

辻伊重

右本社廣告係として入社致候

八月

京城新報社

今日の運勢

八月卅一日舊七月廿六日　●二黒友引戊辰成　△一白●新事見合せの事保證受印代理を禁ず子孫從者の事煩累あり△二黒●盜失遺失及酒色の害を戒しむ新事見合せの事△三碧●旅行探險調査行商に吉其他大抵控へ目の事△四綠●旅行新事見合せの事貸借代理保證委任注意すべし△五黄●共同組合婚談に事遺失紛爭を戒しむ△七赤●大抵進んで吉療病術生[illegible]△八白●雇入れ共同組合[illegible]吉△九紫●改革整理改[illegible]平凡△[illegible]見女雇入[illegible]其他大抵吉(本町五丁目[illegible])

廣告

一、卓子外八點

右九月七日競爭入札ニ付シ八月三十日以後ノ官報ヲ見ヨ

明治四十三年八月三十一日　大[illegible]

雜誌朝鮮解停

本社發行の雜誌朝鮮八月號は其筋より治安に妨害ありとして差押られ且つ發行を停止されしが愈々時局問題解決の本日解停されしを以て爾今益々奮闘以て新時代の要求に應ずべし就ては九月號は日韓合併記念を兼ね大に盛装を凝して九月十日を以て發行すべし此段讀者に謹告す

八月三十日

京城本町九丁目　朝鮮雜誌社

電話番號一三一　振替貯金口座[illegible]

合邦と名刺

▲●空前の大割引●▼

●活版名刺同樣の代價にて石版摺名刺を提供す▲▲勿驚▼▼驚き玉ふな！

●豫約申込は來る九月二十日迄

●御申越次第定價表及見本御送申上候

●期限後はアンデー？

●募集員は當店印章を押捺したる帳簿を携ふ

●代金は現品ご引替の事

京城長谷川町一丁目　渡邊名刺部

東洋最新の二大靈藥

故日本赤十字社病院長從二位勳一等子爵　醫學博士橋本綱常先生處方

橋本救世丸

主治効能　胃、腸、肺、諸結核病に殺菌、防腐、消化の効力偉大にして赤痢、チブス等の傳染を豫防するに特殊の卓効を奏す

岩佐病院主正三位勳一等男爵　岩佐純先生處方

岩佐壯婦丸

主治効能　ヒステリー、子宮諸病、月經不調、氣鬱、めまい、頭痛、不眠、動氣、のぼせ、産前産後、腰痛等婦人病一切の靈藥也

海軍藥劑大監正五位勳三等　水野加以智先生監製

●發行の由來　橋本救世丸は故橋本先生が多年研究の結果發見日露戰役の際我出征軍隊をして赤痢、チブス、胃腸、肺病等の罹患を[illegible]獨乙國政府より其處方を問合せ來れるに徵しても[illegible]知るに足らん●岩佐壯婦丸は從來婦人病に用ひつゝあるは何れも舊式の[illegible]學の進歩に基きたる實藥の未だ發見せられざるを愛へ我國[illegible]最も深き岩佐先生が曾て投劑せし處方に係り朝野貴婦人間に[illegible]たるものなり

●効能書贈呈●販賣取次は本舗又は東京市特約店、中田、大井、中島、大阪市谷回春堂、高橋盛大堂の各店へ申込まる[illegible]

本舗　東京市深川公園地第十二號　合資會社福井堂（電話[illegible]振替口座[illegible]）

東洋最新の二大靈藥

諸會[illegible]製作　油繪肖像畫●硝子金文字入　永樂町二丁目　甚野工舍

滊船出港廣告
月串、甕津、海州行
天草丸
安來丸
成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通 柴田回漕店 (電話四一九)

出港廣告
尼崎滊船
●群山木浦釜山下關神戸大阪行
神代丸 月 日午後四時
君が代丸 月 日午後四時發
秀吉丸 月 日午後四時
大有丸 月 日午後四時
●木浦釜山下之關神戸大阪行
大有丸 月 日午後四時
仁川港取扱店 高杉回漕部 (電話五九)

芙江 公州 間出帆廣告
芙江發 毎日後一時 (京城方面ヨリ急行接續)
公州發 毎日前七時 (京城方面行急行接續)
(荷客共御取扱可申候)
御用向ノ御方ハ(京城仁川鳥致院芙江公州)中你店へ御尋被下度候

純良消毒牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話千六十九番

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半 一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目 柴田芝六 (電話五六八番)

建築業開業
表具部
襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄 眞光小太郎 (電話五六八)

京城曙町 (電話二八七番)
統監府御用
宮内府御用

醫學士木村先生方劑
健胃整腸散
定價 十錢 廿錢
○腹、下痛痢、腸加答兒、赤痢(下り腹一切)の最良藥
發賣本舖 京城明治町三丁目(電話四二七) 小川藥店
▲本品は市内各藥店にあり最寄にて御買求を乞ふ▼

●開店御披露●
時下殘暑の砌り各位益々御健勝の段奉大賀候陳者私事永らく當地旭屋旅館にて御贔負に預り居り候處今般御客樣方の御勸めにより左記の所に於て料理店開業致し候に就ては時節柄衛生を旨とし新鮮なる原料を用ひ御手輕に料理仕り大勉強致候間何卒舊に倍し御引立の上一度御來車御試めしあらん事を偏に願上候
仁川本町四丁目安保小間物店小路角
元旭屋旅館料理人

八百勝事
喜樂
電話架設中

大勉强!!!
薄利多賣の目的を大々的安賣仕り候間御小賣とも多少に不拘御用命の程伏而願上候
▲西洋 雜貨、洋酒、食料品
▲各國 煙草、洋菓子、化粧品
▲支那 緞子、紋繻子、絹紬類
▲浦潮 更紗、毛布類、食器
支那織物は特に大安賣仕候
仁川港支那町 (電話八一八番)
上等 食パン 製造販賣

直輸入御小賣
㊖義生盛號
京城南大門通 (電話一一三六番)
木浦各國居留地 (電話一六九番)
釜山南草梁支那町 (電話五六〇番)
本店 芝罘
營口永世街、奉天城内、鐵嶺西門外、上海二擺渡
義生盛號
長崎市梅香崎
裕和盛號
芝罘は日本一等旅館兼業
清國支店 裕和盛

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金五百萬圓
出張所 京城明治町一丁目 (電話一五四九)

特約店
米國スタンダード製松印石油
下總國野田㊧印醬油
仁川日本醬油株式會社製㊥印醬油
下總國万上印味淋
尾張名古屋㊤印壜詰
浦根炭及日本木炭酢
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
別府後湯の花精製品(入浴用)
の花菓子(茶甲)瓶入各種
京城本町六丁目
日韓貿易商 藤富國太郎本店
電話 三、〇八番 電略(ク)

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊昆布、簾、青莚、味噌、鑵詰、干香、其他乾物類一式

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾六萬圓
京城南大門通 株式會社十八銀行 京城支店 (電話四二〇)
本店 長崎市濱町
支店出張所
京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

夏の和樂園
御料理 席貸 高田家
電九三七
不相變御引立之程乞

內科 小兒科 外科 入院隨意
梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

★株式會社百三十銀行 京城支店
電話百九十四番 五十八番
振替貯金韓國 一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 津、岡崎、濱松、宇田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、東京、横濱、大磯、靜岡、甲府
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、酒田、能代、七崎、青森、仙台
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 米子、境、松江、久手、大田、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本
西海道 八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養、門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎
北海道 小樽、函館
台灣 臺北、臺南
樺太 太泊
韓國 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、尙州、大邱
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

京城相生町南門湯橫 (電話一二九四番)
自午前八時 至午後九時
京城梅毒病院
●花柳病專門附、痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

入院隨意
仁川病院
院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學撰科專攷 菊池徹
藥劑士 常盤光雄
電話十六番

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話 長一二三番 四九二番
日本室和食
特等 (三圓五十錢 一圓五十錢)
一等 (二圓五十錢 一圓八十錢)
二等 (一圓六十錢)
三等 (一圓五十錢)

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐アシン
穀物食鹽
諸染料類
賣販記左
東京ランバーゲ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京國定教科書共同販賣所特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 (電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 (新橋電話三六九二番地十)

大 ㊅ 萬
特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
大上商店
京城本町五丁目
(電話二五一番)
和洋酒、㊞精酢、穀物類、銘茶、鑵詰、乾物、食料雜貨、ビール、米糀、鹽、辛子、日本食鹽、荒物各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて
「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも御直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛置時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計卸商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目(電話一〇一五番)
時計卸小賣 喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三八番)
右特約店 金化堂時計舖
各地方より御注文は發送實費申受候

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島庫藏
(電話四百十二番)

比無勉强
かや わた
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
吳服 太物 洋反 蒲團 調進
唐川商店
京城明治町一丁目
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、淳邊
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川
清國 義州、咸興、大連、營口、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂
韓國銀行